

(別紙)

# 令和5年度(令和4年度からの繰越分)障害福祉分野のロボット等導入支援事業 (施設等に対する導入支援) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 長野県

## 【基本情報】

フリガナ	シヤカイフクシホウジンアユミアイ
法人名	社会福祉法人あゆみ会
フリガナ	ミナバラエン
事業所名	南原苑
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休・休職を除く)】	
22.8 人	

### (1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別:  移乗介護       排泄支援       入浴支援  
 移動支援       見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数): AAMSKWLS/23 aams介護セット 2台

### (2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

#### ① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D÷A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	2 排泄介助・支援		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	3 生活自立支援(※1)		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	4 行動上の問題への対応(※2)	3 人	660 件	7,920 件	20 分	7,920 人時間	880 時間
	5 その他の直接介護		0 件			0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	8 見守り機器の使用・確認	3 人	210 件	2,520 件	20 分	2,520 人時間	280 時間
	9 その他の間接業務		0 件			0 人時間	#DIV/0!
			870 件	10,440 件	40 分	10,440 人時間	#DIV/0!

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

#### <※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

行動上の問題がある利用者が22人おり、22人×30日=660件  
 見守り機器の使用・確認は、支援室で把握をしながら、7人の利用者の見守りをしているので、7人×30日=210件

#### <※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

見守りセンサーを職員の人数の少ない時間帯、夜勤・早番・運番のいる時間10時間、30分に1度モニターにて確認を必ずする。10時間×2回×1分(確認時間)=20分

#### ② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D÷A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	2 排泄介助・支援		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	3 生活自立支援(※1)		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	4 行動上の問題への対応(※2)	3 人	660 件	7,920 件	20 分	7,920 人時間	880 時間
	5 その他の直接介護		0 件			0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)		0 件		0 人時間	#DIV/0!	
	8 見守り機器の使用・確認	3 人	210 件	2,520 件	20 分	2,520 人時間	280 時間
	9 その他の間接業務		0 件			0 人時間	#DIV/0!
			870 件	10,440 件	40 分	10,440 人時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

#### <※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

行動上の問題がある利用者が22人おり、22人×30日=660件  
 見守り機器の使用・確認は、支援室で把握をしながら、7人の利用者の見守りをしているので、7人×30日=210件

#### <※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

見守りセンサーを職員の人数の少ない時間帯、夜勤・早番・運番のいる時間10時間、30分に1度モニターにて確認を必ずする。10時間×2回×1分(確認時間)=20分

年間業務時間数想定削減率(%)

0.0%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

--

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

導入していた見守りセンサーが破損したので、入れ替えができて同様に使用できた。  
新しいバージョンの機器になり、モニターがわかりやすくなり、機能が充実したものになった。

(5)今後の課題

機器がうまく作動できなかった時もあり、機器はあくまでも補助的なものなので、必ず目視で確認が必要。

(6)気づき等について

--

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円/月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

--

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

--

(別紙)

# 令和5年度(令和4年度からの繰越分)障害福祉分野のロボット等導入支援事業 (施設等に対する導入支援) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 長野県

## 【基本情報】

フリガナ	シヤカイフクシホウジンアユミアイ
法人名	社会福祉法人あゆみ会
フリガナ	ミナバラエン
事業所名	南原苑
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休・休職は除く)】	
22.8 人	

### (1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別:  移乗介護  排泄支援  入浴支援  
 移動支援  見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) ボータブル式やぐら型リフト 1台

### (2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

#### ① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D÷A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	2 人	630 件	7,560 件	10 分	2,520 人時間	630 時間
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
		630 件	7,560 件	10 分	2,520 人時間	#DIV/0!	

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

#### <※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

車椅子に乗って移乗支援が必要な利用者3人、7回/日(トイレ、起床、就寝等)  
3人×7回×30日=630件

#### <※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

機器を使用する時間を測定し、平均10分程だった。

#### ② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D÷A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	1 人	630 件	7,560 件	10 分	1,260 人時間	1,260 時間
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
		630 件	7,560 件	10 分	1,260 人時間	#DIV/0!	

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

#### <※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

車椅子に乗って移乗支援が必要な利用者3人、7回/日(トイレ、起床、就寝等)  
3人×7回×30日=630件

#### <※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

機器を使用する時間を測定し、平均10分程だった。

年間業務時間数想定削減率(%)

50.0%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

機器を利用者の居室に導入し、一人で移乗介助できるようになった。

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

介護する側とされる側双方に負担なく移乗介護できる。介助者が身体的負担が少なくなった。

(5)今後の課題

機器の取り扱い研修をしっかりと行い、事故なく安全に介助できるように研修をしていく。

(6)気づき等について

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円/月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。